

令和6年度交流研究員受入れ課題

課題名及び概要	使用可能な機器等	担当部課室等
<p>○ 衛星画像を用いた効率的な地図更新に関する研究</p> <p>リモートセンシング分野において、地球観測衛星画像から国土の状況を把握する技術に関する研究が進められている。</p> <p>本研究では、各種ソフトウェアを用いて光学衛星画像を解析し、その結果を活用して効率的に地図を更新する手法を検討するとともに、検討結果について整理を行う。</p> <p>交流研究員として本研究に携わることにより、光学衛星画像の解析技術や地理空間情報の更新技術等の習得が期待される。</p>	PC、関連ソフトウェア、各種地理空間情報等	<p>基本図情報部 地図情報技術開発室</p> <p>①最大2ヵ月 ②10月～12月 ③1名</p>
<p>○ 各種地理空間情報を用いた電子国土基本図の更新に関する研究</p> <p>国土地理院が整備・更新している電子国土基本図については、現在、様々な地理空間情報を利用して更新が行われている。本研究は、様々な地理空間情報を組み合わせて効率的に地図更新を行う手法について検討し、その検討結果を整理するものである。</p> <p>交流研究員として本研究に携わることにより、地理空間情報の整備・更新及び活用する技術の習得が期待される。</p>	PC、関連ソフトウェア、各種地理空間情報等	<p>基本図情報部 国土基本情報課</p> <p>①最大1ヵ月 ②10～12月 ③1名</p>
<p>○ 各種地理空間情報を用いた防災・地理教育支援コンテンツの開発に関する研究</p> <p>令和4年度から高等学校で「地理総合」の授業が必修化となり、従来からの教科書、参考書や地図帳に加え、ウェブ地図、地理関連の各種コンテンツや地理情報システムを積極的に活用した授業が進められている。</p> <p>本研究では、教育現場の動向を踏まえ、国土地理院が整備・提供する防災地理情報等を利用し、教材として使用できる資料やコンテンツの作成手法及び公開サイトでの見せ方等について検討し、その検討結果について整理を行う。</p> <p>交流研究員として本研究に携わることによって、防</p>	PC、関連ソフトウェア、各種地理空間情報等	<p>応用地理部 地理情報処理課</p> <p>① 最大3ヶ月間 ② 10～12月 ③ 1名</p>

<p>災・地理教育支援を通じた地域の人材育成に対する知識を深められ、コンテンツの開発や情報発信に関する技術の習得が期待される。</p> <p>○ 音響測深データのノイズ処理と湖沼データの効率的な作成手法及びデータの活用手法に関する研究</p> <p>マルチビーム音響測深機で取得したデータのノイズ（水生植物や人工物等）処理やノイズ処理後のデータから湖沼データ（湖底地形の等深線やDEM）作成の作業工程では、ソフトウェアの機能を用いているが一部手作業による工程となっている。</p> <p>この手作業の工程を自動化することで、工程全体の効率化・作業期間の短縮化が期待できることから、効率的なデータ処理・作成手法に関して研究するものである。</p> <p>さらに、湖沼データと陸域の標高データを組み合わせることにより、水域と陸域が一体となった高精度な3次元データの活用に関する研究もあわせて実施する。</p> <p>交流研究員として本研究に携わることにより、今後利用の拡大が想定されるALB（航空レーザ測深）やUAV搭載型グリーンレーザなどのデータ処理・作成や活用手法の技術の習得が期待される。</p>	<p>PC、関連ソフトウェア、音響測深データ</p>	<p>応用地理部 地理調査課</p> <p>① 最大1ヶ月間 ② 12月 ③ 1名</p>
---	----------------------------	---

<連絡事項>

1. 担当部課室

①②③は、受入れを担当する部課室の希望期間等です。申請いただいた課題によっては、調整させていただきます場合がございますので、あらかじめ御了承願います。

①受入れ希望期間

②受入れ希望時期

③同期間内の受入れ可能人数

2. 受入れの選考

受入れ申請書に基づく書類審査で選考させていただきます。よって、応募多数の場合等、受入れ申請機関のご希望に添えない場合がございますので、あらかじめ御了承願います。